

## 9 連立方程式の解法

### A 問題 (必須問題)

9.A.1 教科書 p.50 の問題 2.3 をすべて解け.

9.A.2 教科書 p.51 の問題 2.4 をすべて解け.

### B 問題 (標準問題)

9.B.1 次の連立 1 次方程式が解をもつように  $c$  の値を定めよ.

$$\begin{cases} 2x + y - z & = 1 \\ x - 3y + 2z & = 4 \\ 3x - 2y + z & = c \end{cases}$$

9.B.2 次の連立 1 次方程式が, (i) ただひとつの解をもつ, (ii) 無数の解をもつ, (iii) 解をもたない, ように  $c$  の値をそれぞれ定めよ.

$$\begin{cases} x + y - z & = 1 \\ 2x + 3y + cz & = 3 \\ x + cy + 3z & = 2 \end{cases}$$

9.B.3 連立 1 次方程式

$$\begin{cases} x + 2y - 3z & = a \\ x - 2y + 7z & = b \\ 2x + 6y - 11z & = c \end{cases}$$

は  $a, b, c$  がどのような関係式を満たすとき, 解をもつか調べよ.

9.B.4 連立 1 次方程式  $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$  の異なるふたつの解  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2$  に対して,  $\mathbf{x}_1 - \mathbf{x}_2$  は同次連立 1 次方程式  $A\mathbf{x} = \mathbf{0}$  の自明でない解となることを示せ.

### C 問題 (発展問題)

9.C.1 連立 1 次方程式  $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$  ( $\mathbf{b} \neq \mathbf{0}$ ) の任意の  $k$  個の解を  $\mathbf{x}_1, \mathbf{x}_2, \dots, \mathbf{x}_k$  とする. このとき,

$\sum_{i=1}^k \lambda_i \mathbf{x}_i$  が  $A\mathbf{x} = \mathbf{b}$  の解となるための必要十分条件は

$$\sum_{i=1}^k \lambda_i = 1$$

であることを証明せよ.